

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	現代の国語	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨くとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:高等学校 現代の国語(第一学習社) 副教材:「五訂版 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2」(数研出版) 「新版 意味から学ぶ頻出漢字 3000」(第一学習社) 「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) 「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・実社会に必要な国語に関する技能を身に付けている。 ・言語には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などの知識を身に付けている。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	1 ○評論 『生きもの』として生きる ○評論 「水の東西」 2 ○小説 「羅生門」 ○評論 「ものごとことば」	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物/作品/レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度/グループワーク/発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物/作品/レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度/グループワーク/発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	3 ○評論 「文化」としての科学 ※(投げ入れ教材) ○韻文 詩「鶯のうへ」「I was born」 4 ○評論 「フェアな競争」 ○小説 「夢十夜」 言語活動 ○話して伝える スピーチで自分を伝える	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物/作品/レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度/グループワーク/発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物/作品/レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度/グループワーク/発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

第三学期	5 ○評論「不均等な時間」 ○小説「城の崎にて」 言語活動 ○書いて伝える 社会に対する意見文を書く	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
第一学期	4	1 ○評論「『生きもの』として生きる」	5	
	5	○評論「水の東西」	5	
			第一学期中間考査	
	6	2 ○小説「羅生門」	パフォーマンス課題1 作品のメッセージを分析する(交流)	9
	7	○評論「ものとことば」		5
		第一学期期末考査		
第二学期	8	3 ○評論「文化」としての科学	6	
	9	※(投げ入れ教材)		
	10	○韻文 詩「鶯のうへ」「I was born」	パフォーマンス課題2 詩を味わう(鑑賞と発表)	7
			第二学期中間考査	
	10	4 ○評論「フェアな競争」	6	
	11	○小説「夢十夜」 言語活動	5	
12	○話して伝える スピーチで自分を伝える	4		
		第二学期期末考査		
第三学期	1	5 ○評論「不均等な時間」	6	
	2	○小説「城の崎にて」	パフォーマンス課題3 作品のメッセージを分析する(交流)	8
	3	言語活動 ○書いて伝える 社会に対する意見文を書く	4	
		学年末考査		

5 その他

真剣に授業を受けることはもちろん大切だが、日常生活の中でさまざまな文章に触れたり、自分の意見を論理的に述べたりする機会を積極的に作ろう。語彙や知識が増え、論理的な思考力や表現力がついてくる。授業では漢字テストや、単元ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文)の課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	1	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨くとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:高等学校 言語文化(第一学習社) 副教材:「基本の古文 大学入学共通テスト対策新装版(尚文出版)」 「基本の漢文 大学入学共通テスト対策新装版(尚文出版)」 「解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社)」 「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版(桐原書店)」 「トータルサポート新国語便覧(大修館書店)」 「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。) 「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言語には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、現代の言葉とのつながりについて理解している。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	古文入門 ○説話 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 漢文入門 ○「訓読に親しむ」 古文入門 ○物語 「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) 故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

第二学期	随筆 ○「はしたなきもの」(枕草子) ○「ある人、弓射ることを習心に」(徒然草) 史伝 ○「完璧」「先従隗始」(十八史略) 歌物語 ○「芥川」「東下り」(伊勢物語) 史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	和歌 ○百人一首(冬課題) ※三首程度授業で扱う 日記 ○「門出」「帰京」(土佐日記) 漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二) 思想 ○「論語」より数編	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
第一学期	4	古文入門 ○説話「児のそら寝」(宇治拾遺物語)	・歴史的仮名遣い／品詞／ 動詞(四段・上二段・下二段)	9
	5	漢文入門 ○「訓読に親しむ」	・漢文の構造／訓点／書き下し文／置字など 第一学期中間考査	6
	6	古文入門 ○物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語)	・動詞(上一段・下一段・カ変・サ変・ナ変・ラ変)	9
		・係り結びの法則 ・接続助詞「ば」 ・用言の音便 ・形容詞と形容動詞 ・助動詞(種類と過去)	3	
	7	漢文入門 ○「訓読に親しむ」 故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」	・再読文字 ・否定形／使役形／反語形／疑問形 パフォーマンス課題1 故事成語について考える 第一学期期末考査	3 6

第 二 学 期	8	随筆 ○「はしたなきもの」(枕草子)	・助動詞(完了・打消)	6	
	9	○「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草)	・助動詞(む・むず・べし)	6	
	10	史伝 ○「完璧」(十八史略)	・受身形／使役形	5	
		○「先從隗始」(十八史略)	・使役形／抑揚形／比較形／反語形	5	
	第二学期中間考査				
	10	歌物語 ○「芥川」(伊勢物語)	・助動詞(過去(確認)・完了(確認)・まし)	7	
	11	○「東下り」(伊勢物語)	・願望「なむ」／打消接続「で」／え～ず	7	
	12	○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・助動詞(打消推量・断定・らむ・けむ)	7	
パフォーマンス課題2 表現を味わう(鑑賞と発表)					
第二学期期末考査					
第 三 学 期	1	和歌 ○百人一首(解説とゲーム)	・和歌の技巧	3	
	パフォーマンス課題3 和歌を味わう(鑑賞文)				
	2	日記 ○「門出」(土佐日記)	・助動詞(伝聞推定)	7	
	3	漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二)	・漢詩の修辞	6	
	3	日記 ○「帰京」(土佐日記)	・助動詞(使役・その他を含め助動詞のまとめ)	7	
	思想 ○「論語」より数編	・思想史	4		
学年末考査					

5 その他

高校では、古文の文法事項や漢文の句形を基礎から学ぶことによって、古典を正確に読めるようになることを目指す。暗記すべきことが多いが、粘り強く取り組むことによって古典を読む楽しさが味わえるようになる。また、昔の人々の生活や文化、ものの考え方なども授業で紹介していく。現代と共通するもの、異なったものなど様々な発見があるだろう。日常生活の中でも昔のことを扱った本やテレビ番組などに積極的に触れてみよう。単元ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)の課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨くとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:高等学校 言語文化(第一学習社) 副教材:「基本の古文 大学入学共通テスト対策新装版(尚文出版)」 「基本の漢文 大学入学共通テスト対策新装版(尚文出版)」 「解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社)」 「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版(桐原書店)」 「トータルサポート新国語便覧(大修館書店)」 「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。) 「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言語には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、現代の言葉とのつながりについて理解している。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	古文入門 ○説話 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 漢文入門 ○「訓読に親しむ」 古文入門 ○物語 「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) 故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

第二学期	随筆 ○「ある人、弓射ることを習心に」(徒然草) 史伝 ○「先從隗始」(十八史略) 歌物語 ○「芥川」「東下り」(伊勢物語) 史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	和歌 ○百人一首(冬課題) ※三首程度授業で扱う 日記 ○「門出」(土佐日記) 漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二) 思想 ○「論語」より数編	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
第一学期	4	古文入門 ○説話 「児のそら寝」(宇治拾遺物語)	・歴史的仮名遣い／品詞／ 動詞(四段・上二段・下二段)	5
	5	漢文入門 ○「訓読に親しむ」	・漢文の構造／訓点／書き下し文／置字など 第一学期中間考査	5
	6	古文入門 ○物語 「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語)	・動詞(上一段・下一段・カ変・サ変・ナ変・ラ変) ・係り結びの法則 ・接続助詞「ば」 ・用言の音便 ・形容詞と形容動詞 ・助動詞(種類と過去)	6
	7	漢文入門 ○「訓読に親しむ」 故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」	・再読文字 ・否定形／使役形／反語形／疑問形 パフォーマンス課題1 故事成語について考える 第一学期期末考査	3 5

第二学期	8	随筆 ○「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草)	・助動詞(む・むず・べし)	6
	9	史伝 ○「先從隗始」(十八史略)	・使役形／抑揚形／比較形／反語形	7
	10	歌物語 ○「芥川」(伊勢物語)	・助動詞(過去(確認)・完了(確認)・まし) ・願望「なむ」／打消接続「で」／え～ず	6
	11	○「東下り」(伊勢物語)	・助動詞(打消推量・断定・らむ・けむ) パフォーマンス課題2 表現を味わう(鑑賞と発表)	5
	12	史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・疑問形／否定形	4
				第二学期期末考査
第三学期	1	和歌 ○百人一首(解説とゲーム)	・和歌の技巧 パフォーマンス課題3 和歌を味わう(鑑賞文)	3
	2	日記 ○「門出」(土佐日記)	・助動詞(伝聞推定)	5
	3	漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二)	・漢詩の修辞	6
		思想 ○「論語」より数編	・思想史	4
			学年末考査	

5 その他

高校では、古文の文法事項や漢文の句形を基礎から学ぶことによって、古典を正確に読めるようになることを目指す。暗記すべきことが多いが、粘り強く取り組むことによって古典を読む楽しさが味わえるようになる。また、昔の人々の生活や文化、ものの考え方なども授業で紹介していく。現代と共通するもの、異なったものなど様々な発見があるだろう。日常生活の中でも昔のことを扱った本やテレビ番組などに積極的に触れてみよう。単元ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)の課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書:「精選論理国語」(東京書籍)</p> <p>副教材:「五訂版 正しく読み・解くための力をつける現代文ステップ3」(数研出版)</p> <p>★「進研WINSTEP現代文2 新課程版」(ラーズ) ★はフロンティアクラスのみ</p> <p>※「意味から学ぶ頻出漢字 3000」(第一学習社) ※は一年次からの継続使用</p> <p>※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店)</p> <p>※「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、論証のための必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係や推論の仕方について、理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことについて、様々な観点から情報を収集、整理して、自分の立場や論点を明確にするとともに、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。また、表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、自分の主張が的確に伝わる文章記述を目指している。 ・読むことについて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。さらに、主張を支える根拠や結論を導く論拠を多面的・多角的な視点から批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を評価しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・各教材の目標や学習内容等に応じて、積極的に、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの学習について、今までの学習を生かして、見通しをもって取り組もうとしている。 ・各単元の具体的な言語活動に前向きに取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	①発見への誘い 「いつもそばには本があった」(國分功一郎) 「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) ○論理の力 1 つなげる力 ②言語と認識 「科学的『発見』とは」(小川真理子) ○探究編「資料を整理し、テーマを吟味する」 ○論理の力 2 論証する力 ○言葉のトレーニング 「『ヘビににらまれたカエル』の生き残り戦略」 (西海望)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	③人間を見つめる 「分人とは何か」(平野啓一郎) 「メディアの変容」(土井隆義) ○言葉のトレーニング 「地方都市を考える」(貞包英之) ○論理の力 3 要約する力 ⑤社会を捉え直す 「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) ○探究編「仮説を立てて検証する」 ○論理の力 4 質問する力 ○言葉のトレーニング 「つながりとしての段落」(石黒圭)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	④学問のまなざし 「『環境』とは何か」(上柿崇英) ⑤社会を捉え直す 「消費されるスポーツ」(多木浩二) ○探究編 「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」 ⑥イメージを読む 「地図の想像力」(若林幹夫)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第一 学期	4	①発見への誘い 「いつもそばには本があった」(國分功一郎)	3
	5	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行)	5
		第一学期中間考査	1
		○論理の力 1 つなげる力	1
	6	②言語と認識 「科学的『発見』とは」(小川真理子)	5
		○探究編 「資料を整理し、テーマを吟味する」	4
		パフォーマンス課題1 資料を整理し、テーマを吟味する	
	7	○論理の力 2 論証する力 ○言葉のトレーニング 『『ヘビにいらまれたカエル』の生き残り戦略』(西海望)	1 3 1
		第一学期期末考査	
第二 学期	8	③人間を見つめる 「分人とは何か」(平野啓一郎)	5
	9	「メディアの変容」(土井隆義)	5
		○言葉のトレーニング 「地方都市を考える」(貞包英之)	3
	10	第二学期中間考査	1
		○論理の力 3 要約する力 ⑤社会を捉え直す	1
	11	『『である』ことと『する』こと』(丸山真男)	7
	○探究編 「仮説を立てて検証する」	3	
		パフォーマンス課題2 仮説を立てて検証する	
	12	○論理の力 4 質問する力 ○言葉のトレーニング 「つながりとしての段落」(石黒圭)	1 2
		第二学期期末考査	
第三 学期	1	④学問のまなざし 『『環境』とは何か』(上柿崇英)	5
		⑤社会を捉え直す 「消費されるスポーツ」(多木浩二)	5
	2	○探究編 「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」	2
		パフォーマンス課題3 小論文記述	
	3	⑥イメージを読む 「地図の想像力」(若林幹夫)	5
		学年末考査	1

5 その他

論理的文章の読解力の向上には教科書や問題集の文章をじっくり読むだけでなく、日常生活の中で人の意見を聞いた
り、意見をうまくまとめて要領よく発表したりすることが大切な取り組みとなる。論理的な思考ができるように日々しっか
り考える習慣をつけて欲しい。授業では漢字テストや、学期ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文)のパフォーマ
ンス課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学び
の基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書副教材等	<p>使用教科書:「古典探究 古文編」(大修館書店) 「古典探究 漢文編」(大修館書店)</p> <p>副教材:「新成古文 大学入学共通テスト対策 新装版 2」(尚文出版) 「新成漢文 大学入学共通テスト対策 新装版 2」(尚文出版)</p> <p>★「進研WINSTEP古典2 新課程版」(ランズ) ★はフロンティアクラスのみ</p> <p>「読んで見て覚える重要古文単語 315 四訂版」(桐原書店)</p> <p>※「解釈のための必携古典文法 三訂新版」(啓隆社) ※は一年次からの継続使用</p> <p>※「書き込みながら覚える古典文法ワークノート」(第一学習社)</p> <p>※「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版」(桐原書店)</p> <p>※「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版チェックノート」《基本編》(桐原書店)</p> <p>※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店)</p> <p>※「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)</p> <p>※「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</p>	<p>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を深く解釈するとともに、作品の価値について考察し、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めている。</p> <p>・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを深めている。</p>	<p>・古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深め、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。</p> <p>・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。</p>
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	古文編 ○説話「大江山いくのの道」(『十訓抄』) 漢文編 ○故事・逸話「画竜点睛」(『歴代名画記』) ○故事・逸話「漱石枕流」(『世説新語』) 古文編 ○随筆「中納言参りたまひて」(『枕草子』) 漢文編 ○文章「桃花源記」(『陶淵明集』) 古文編 ○随筆「行く河の流れ」(『方丈記』)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	古文編 ○日記「あこがれ」(『更級日記』) 漢文編 ○史伝「鴻門の会(一)」(『史記』) 古文編 ○日記「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 古文編 ○物語「光源氏の誕生」(『源氏物語』) 漢文編 ○史伝「鴻門の会(二)」(『史記』) ○史伝「項王の最期(一)」(『史記』)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	古文編 ○物語「若紫との出会い」(『源氏物語』) 漢文編 ○思想「賢哉回也」(『論語』) ○思想「不忍人之心」(『孟子』) ○思想「人之性悪」(『荀子』)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
第一 学期	4	古文編 ○説話「大江山いくのの道」(『十訓抄』) ・鑑賞 視点「生野」(梨木香歩)／和歌技巧	5	
	5	漢文編 ○故事・逸話「画竜点睛」(『歴代名画記』) ・使役形	3	
		○故事・逸話「漱石枕流」(『世説新語』) ・疑問形	3	
			第一学期中間考査	1
	6	古文編 ○随筆「中納言参りたまひて」(『枕草子』) ・敬語の基本／敬語の種類と品詞／敬意の対象	5	
			パフォーマンス課題1 古典の敬語について考える	
	7	漢文編 ○文章「桃花源記」(『陶淵明集』) ・否定形(部分否定)／疑問形／使役形	3	
古文編 ○随筆「行く河の流れ」(『方丈記』) ・中世の無常観		3		
		第一学期期末考査	1	
第二 学期	8	古文編 ○日記「あこがれ」(『更級日記』)	4	
	9	漢文編 ○史伝「鴻門の会(一)」(『史記』) ・使役形／反語形／受身形	5	
		古文編 ○日記「源氏の五十余巻」(『更級日記』)	4	
			第二学期中間考査	1
	11	古文編 ○物語「光源氏の誕生(前半)」(『源氏物語』)	4	
		漢文編 ○史伝「鴻門の会(二)」(『史記』) ・疑問形／抑揚形／限定形	2	
	12	○史伝「項王の最期(一)」(『史記』) ・疑問形／詠嘆形／反語形	3	
		パフォーマンス課題2 『史記』について考える		
	古文編 ○物語「光源氏の誕生(後半)」(『源氏物語』)	4		
		第二学期期末考査	1	
第三 学期	1	古文編 ○物語「若紫との出会い(前半)」(『源氏物語』)	5	
			パフォーマンス課題3 平安物語について考える	
	2	漢文編 ○思想「賢哉回也」(『論語』) ・中国の思想／諸子百家／詠嘆形	2	
		○思想「不忍人之心」(『孟子』) ・性善説	3	
		○思想「人之性悪」(『荀子』) ・性悪説	3	
3	古文編 ○物語「若紫との出会い(後半)」(『源氏物語』)	4		
		学年末考査	1	

5 その他

1年生で学んだ事項に基づき、古典の作品を構成・展開・表現などに即して的確に読解する力を養う。また、文法事項や和歌の修辞技法についてもより深く学んでいく。学期ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)のパフォーマンス課題提出、単元ごとにグループワークでの意見交流等を行う。これらの学習を通して自分自身のものの方、考え方、感じ方を豊かにし、古典常識や社会背景に対する理解を深めていく。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。なお、学びの基礎診断のテストを、7・11月・1月に実施する。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	文学国語	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	文型(クリエイションを除く)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書:「文学国語」(東京書籍)</p> <p>副教材:「新訂二版 ニューエイジ古文 達成2+」(数研出版) ※2・3年次授業内の演習で使用する。 「新訂二版 ニューエイジ漢文 達成2+」(数研出版) ※2・3年次授業内の演習で使用する。 ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やすとともに、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことについて、情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするとともに、文章の構成や展開を工夫しようとしている。また、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の特長や課題を明確にしている。 読むことについて、文章の内容や構成、展開、描写の仕方、語り手の視点や表現の特色に注目し、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品の解釈を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文学的文章や古典を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、人間、社会、自然や先人の考えなどに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	○随筆 「雨月物語」(木内昇) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習 ○小説 「山月記」(中島敦) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	○評論 「言葉を生きる」(若松英輔) ○詩歌 「硝子の駒——短歌抄」 ○演習 古文問題演習・漢文問題演習 ○小説 「鞆」(安部公房) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	○小説 「こころ」(夏目漱石) ○評論 「文学のふるさと」(坂口安吾) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
第一学期	4	○随筆 「雨月物語」(木内昇)	5	
	5	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	4	
			第一学期中間考査	1
	6	○小説 「山月記」(中島敦)	8	
	7	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	5	
		パフォーマンス課題1 作品のメッセージを分析する		
		第一学期期末考査	1	

第二学期	8	○評論 「言葉を生きる」(若松英輔)	5	
	9	○詩歌 「硝子の駒——短歌抄」	4	
	10	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	4	
			第二学期中間考査	1
	11	○小説 「鞆」(安部公房)	8	
	12	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	5	
		パフォーマンス課題2 短歌を味わう(鑑賞と発表)		
			第二学期期末考査	1
第三学期	1	○小説 「こころ」(夏目漱石)	9	
	2	○評論 「文学のふるさと」(坂口安吾)	5	
	3	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	3	
			パフォーマンス課題3 作品のメッセージを分析する	
			学年末考査	1

5 その他

文学的文章の読解力の向上のためには、読書の習慣をつけることがいちばんの近道と言える。書物にじっくりと向き合い読書の愉しみにひたることが大切なのはもちろんだが、文章の行間にある、明確に書かれていない何かを読み解き、推論を繰り返していくことも大切な作業である。授業を読書に触れあうことの入口として、読むことのヒントにしてほしい。また、授業では問題演習を通して古典教材も扱っていく。問題演習も読書の入口となるだろう。なお、学期ごとに文章表現のパフォーマンス課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
国語	現代文B	2	3	全

1 学習の到達目標

学習の到達目標	近代以降の優れた文章や作品を鑑賞することで、読解する能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深める。それによって、自ら進んで読書し、表現することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：「精選現代文B」(東京書籍) 副教材：「新演習 現代文アチーブ3 四訂版」(桐原書店) 「意味から学ぶ頻出漢字 3000」(第一学習社) 「読解を深める現代文単語〈評論・小説〉改訂版」(桐原書店) 「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館書店)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲・ 態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	授業態度、グループワーク、発言、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題、提出物等	33%
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	授業態度、グループワーク、発言、定期考査、課題テスト等	16%
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	18%
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	16%
⑤知識・理解	言語には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などについての知識を身につけている。	定期考査、課題テスト	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第1学期	4	6	○評論「言語と記号」 (丸山圭三郎)	【評論】 論の展開や主張を読み取る。	○	○	○	○	○
	5	6	○小説「檸檬」 (梶井基次郎)	【小説】 心情変化や描写を読み取る。	○	○	○	○	○
	6	6	○評論「鏡の中の現代社会」(見田宗介)	【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
	7	6	○問題演習による読解		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第2学期	8	9	○小説「舞姫」 (森鷗外)	【評論】 論の展開や主張を読み取る。	○	○	○	○	○
	9	7	○評論「サッカーにおける『資本主義の精神』」 (大澤真幸)	【小説】 心情変化や描写を読み取る。	○	○	○	○	○
	10		○社会の壊れる時—知性的であるとはどういうことか」(鷲田清一)	【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
	11	7			○	○	○	○	○
	12	5	○問題演習による読解		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第3学期	1	10	○問題演習による読解	【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
	2	8	○問題演習による読解		○	○	○	○	○
	3								

4 その他

授業を大切にすること。授業中に投げかけられた質問について自分なりに解答を考え、テキストを何度も読み返すことで読解力がついてくる。また、現代文単語テストで得点を重ねることで語彙力もあがってくる。さらに、問題演習を数多くこなし、納得するまで解説を読み込むことが、力をつけていくための重要な取り組みとなる。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査の全4回を実施する。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
国語	古典B	2	3	理型・体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>古典としての古文と漢文を読解し鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：「精選古典B改訂版」（大修館書店） 副教材：「錬成古文 大学入学共通テスト対策 新装版2+」（尚文出版） 「錬成漢文 大学入学共通テスト対策 新装版2+」（尚文出版） 「解釈のための必携古典文法 三訂版」（啓隆社） 「読んで見て覚える 重要古文単語315 三訂版」（桐原書店） 「漢文必携 四訂版」（桐原書店） 「漢文必携チェックノート 四訂版」（桐原書店） 「改訂版漢文重要語マスターノート」（数研出版） 「ビジュアルカラー国語便覧」（大修館書店） 「古語辞典」「漢和辞典」 （※紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。）</p>

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	授業態度、グループワーク、発言、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題、提出物等	33%
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	授業態度、グループワーク、発言、定期考査、課題テスト等	16%
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	18%
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	16%
⑤知識・理解	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、現代の言葉とのつながりについて理解している。	定期考査、課題テスト	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第1学期	4	7	○『蜻蛉日記』「町の小路の女」	【古文】 作品のおもしろさを味わうとともに、語彙、文法事項などに習熟する。 【漢文】 作品のおもしろさを味わうとともに、語彙、基本句形などに習熟する。	○	○	○	○	○
	5	3	○『韓非子』「不死之薬」		○	○	○	○	○
	6	3	○『帰田録』「売油翁」		○	○	○	○	○
	7	7	○『和泉式部日記』「薫る香に」		○	○	○	○	○
	7	4	○『古文真宝後集』「春夜宴桃李園序」		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第2学期	8	8	○『源氏物語』「葵」	【古文】 作品のおもしろさを味わうとともに、語彙、文法事項などに習熟する。 【漢文】 思想を理解するとともに、語彙、基本句形などに習熟する。 【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
	9	2	○『論語』「子之武城、聞絃歌之声」		○	○	○	○	○
	10	2	○『老子』「小国寡民」		○	○	○	○	○
	10	2	○『莊子』「曳尾於塗中」		○	○	○	○	○
	11	2	○『韓非子』「侵官之害」		○	○	○	○	○
	12	12	○問題演習による読解		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第3学期	1	10	○問題演習による読解	【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
	2	8	○問題演習による読解		○	○	○	○	○
	3								

4 その他

予習をしっかり行い、課題意識を持って主体的に授業に臨んで欲しい。語彙・文法などの基礎事項は反復学習が効果的である。国語の習熟には時間がかかるということを念頭に置いて、早い段階から地道に取り組む意欲と姿勢を持とう。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査の全4回を実施する。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
国語	古典B	3	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>古典としての古文と漢文を読解し鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：「精選古典B改訂版」（大修館書店） 副教材：「錬成古文 大学入学共通テスト対策 新装版2+」（尚文出版） 「錬成漢文 大学入学共通テスト対策 新装版2+」（尚文出版） 「解釈のための必携古典文法 三訂版」（啓隆社） 「読んで見て覚える 重要古文単語315 三訂版」（桐原書店） 「漢文必携 四訂版」（桐原書店） 「漢文必携チェックノート 四訂版」（桐原書店） 「改訂版漢文重要語マスターノート」（数研出版） 「ビジュアルカラー国語便覧」（大修館書店） 「古語辞典」「漢和辞典」 （※紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。）</p>

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	授業態度、グループワーク、発言、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題、提出物等	33%
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	授業態度、グループワーク、発言、定期考査、課題テスト等	16%
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	18%
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	16%
⑤知識・理解	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、現代の言葉とのつながりについて理解している。	定期考査、課題テスト	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第1学期	4	7	○『蜻蛉日記』「町の小路の女」	【古文】 作品のおもしろさを味わうとともに、語彙、文法事項などに習熟する。 【漢文】 作品のおもしろさを味わうとともに、語彙、基本句形などに習熟する。	○	○	○	○	○
		3	○『韓非子』「不死之薬」		○	○	○	○	○
	5	6	○『枕草子』「二月つごもりごろに」		○	○	○	○	○
		3	○『帰田録』「売油翁」		○	○	○	○	○
	6	3	○『大鏡』「三船の才」		○	○	○	○	○
		3	○『大鏡』「鶯宿梅」		○	○	○	○	○
	7	7	○『和泉式部日記』「薫る香に」		○	○	○	○	○
		4	○『古文真宝後集』「春夜宴桃李園序」		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第2学期	8	8	○『源氏物語』「葵」	【古文】 作品のおもしろさを味わうとともに、語彙、文法事項などに習熟する。 【漢文】 思想を理解するとともに、語彙、基本句形などに習熟する。 【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
		2	○『論語』「子之武城、聞絃歌之声」		○	○	○	○	○
	9	2	○『老子』「小国寡民」		○	○	○	○	○
		4	○『源氏物語』「須磨」		○	○	○	○	○
	10	2	○『莊子』「曳尾於塗中」		○	○	○	○	○
		2	○『韓非子』「侵官之害」		○	○	○	○	○
	11	2	○『無名抄』「おもて歌」		○	○	○	○	○
		18	○問題演習による読解		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第3学期	1	15	○問題演習による読解	【問題演習】 実践力を強化する。	○	○	○	○	○
	2	14	○問題演習による読解		○	○	○	○	○
	3								

4 その他

予習をしっかり行い、課題意識を持って主体的に授業に臨んで欲しい。語彙・文法などの基礎事項は反復学習が効果的である。国語の習熟には時間がかかるということを念頭に置いて、早い段階から地道に取り組む意欲と姿勢を持つよう。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査の全4回を実施する。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）等
国語	国語演習	3	3	文型（選択）

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の主題を把握し、設問に的確に解答することができる読解力、論理的思考力、表現力を養う。 ・言葉の知識、語彙を身につける。
使用教科書 副教材等	教科書：高等学校 国語総合（第一学習社） 副教材：改訂版プロGRESS〈読解・論点・探究〉現代文総演習 発展編（いづな書店） 新版二訂 ニューエイジ古文 達成2+（第一学習社） 実践 国語常識・作文ステップアップ（数研出版）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	授業態度、グループワーク、発言、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題、提出物等	33%
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	授業態度、グループワーク、発言、定期考査、課題テスト等	16%
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	18%
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	16%
⑤知識・理解	言語には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などについての知識を身につけている。	定期考査、課題テスト	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第1学期	4	8	現代文 問題番号 1～2 古文 問題番号 1～2 古典文法の学習	問題演習や課題への取り組みをとおして、文章の主題を把握し、読解力・論理的思考力・表現力を養うとともに、言葉の知識・語彙を身につける。	○	○	○	○	○
	5	11	現代文 問題番号 3～5 古文 問題番号 3～5 古典文法の学習		○	○	○	○	○
	6	11	現代文 問題番号 6～8 古文 問題番号 6～8 古典文法の学習		○	○	○	○	○
	7	6	現代文 問題番号 9～10 古文 問題番号 9～10 古典文法の学習		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第2学期	8・9	14	現代文 問題番号 11～13 古文 問題番号 11～13 古典文法の学習	問題演習や課題への取り組みをとおして、文章の主題を把握し、読解力・論理的思考力・表現力を養うとともに、言葉の知識・語彙を身につける。	○	○	○	○	○
	10	10	現代文 問題番号 14～16 古文 問題番号 14～16 古典文法の学習		○	○	○	○	○
	11	10	現代文 問題番号 17～19 古文 問題番号 17～19 古典文法の学習		○	○	○	○	○
	12	6	現代文 問題番号 20～21 古文 問題番号 20～21 古典文法の学習		○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第3学期	1	15	現代文 問題番号 22～24 古文 問題番号 22～25 古典文法の学習	問題演習や課題への取り組みをとおして、文章の主題を把握し、読解力・論理的思考力・表現力を養うとともに、言葉の知識・語彙を身につける。	○	○	○	○	○
	2	14	現代文 問題番号 25 古文 問題番号 26～28 古典文法の学習		○	○	○	○	○
	3								

4 その他

留意事項

- 1 目的意識を持ち、主体的・積極的に授業に取り組むこと。
- 2 提出物が大きなウエイトを占める。きちんと取り組み、提出期限を厳守すること。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査の全4回を実施する。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
国語	国語表現	3	3	体育（選択）

1 学習の到達目標

学習の到達目標	国語で適切に、効果的に表現する能力を高めるとともに、思考力を伸ばし、言語感覚を磨く。さらに、進んで表現することによって、生活を充実させる態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：高等学校 改訂版 国語表現（第一学習社） 副教材：改訂版 国語表現準拠ノート（第一学習社）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲・ 態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	授業態度、グループワーク、発言、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題、提出物等	33%
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	授業態度、グループワーク、発言、定期考査、課題テスト等	16%
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	18%
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	定期考査、課題テスト、記述物、作品、レポート、自主挑戦課題等	16%
⑤知識・理解	言語には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などについての知識を身につけている。	定期考査、課題テスト	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第1学期	4	9	<ul style="list-style-type: none"> ・誤りやすい漢字や同音・同訓の漢字を学習する。 ・原稿用紙の使い方や表記上の注意点等を確認し、自己紹介文を作成する。 ・話し言葉と書き言葉の違いを学習する。 ・適切な表現方法を学習する。 ・意見文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙力を身につける。 ・作文・小論文の基礎的知識を身につける。 ・身の回りから題材を見つけ、自分の意見をまとめて発表し、相互評価する力を身につける。 	○	○	○	○	○
	5	12			○	○	○	○	○
	6	12			○	○	○	○	○
	7	6			○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第2学期	8・9	18	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語や敬語・慣用表現を学習する。 ・志望理由書の書き方を学び、志望理由書を書く。 ・文体や句読点、接続語句や指示語を正しく使用できるように学習する。 ・小論文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙力を身につける。 ・自分の進路を見つめ、適切な表現で志望理由をまとめる力を身につける。 ・表現力を身につける。 	○	○	○	○	○
	10	10			○	○	○	○	○
	11	12			○	○	○	○	○
	12	6			○	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
第3学期	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを書く。 ・自由テーマで2000字の作文をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの課題をもとに情報を収集し、結論を明確にまとめる力を身につける。 ・高校生活を振り返り、自分の経験や夢を文章としてまとめる力を身につける。 	○	○	○	○	○
	2	10			○	○	○	○	○
	3								

4 その他

多数の生徒が自己推薦書や小論文を書く必要があるため、国語表現の授業では、高校生活を振り返って文章化する課題に取り組む。同時に、正確に文書を書くためのスキルについて、副教材を使用しながら学んでいく。また、一般教養を身につけ、より深い文章を書けるように時事問題を扱うことを計画している。

※定期考査は、第1学期期末考査、第2学期期末考査の全2回を実施する。

様式7

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	歴史総合	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	山川出版社 『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』 とうほう 『問いからはじまる歴史総合』 浜島書店 『要点整理ゼミナール歴史総合』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	260点	260点	260点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	【第Ⅰ部 近代化と私たち】 第1章 結びつく世界と日本の開国 第2章 国民国家と明治維新 【第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち】 第3章 総力戦と社会運動	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題 ・提出物等
	評価点	65点	65点	80点
2 学期	2節～ ソ連の成立とアメリカ合衆国の台頭 第4章 経済危機と第二次世界大戦 【第Ⅲ部 グローバル化と私たち】 第5章 冷戦と世界経済 ～4節 地域連携の形成と展開	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・長期休業課題	・授業観察 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題 ・長期休業課題 ・提出物等
	評価点	130点	130点	130点
3 学期	5節～ 計画経済とその波及 第6章 世界秩序の変容と日本	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート ・長期休業課題 ・提出物等
	評価点	65点	65点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	【第Ⅰ部 近代化と私たち】 第1章 結びつく世界と日本の開国 3節 産業革命 4節 中国の開港と日本の開国	1 6
	5	第2章 国民国家と明治維新 1節 市民革命 2節 国民国家とナショナリズム 3節 明治維新	14
	6	4節 日本の産業革命 5節 帝国主義 6節 変容する東アジアの国際秩序 7節 日露戦争と東アジアの変動	
	7	----- 1学期期末考査	1
2 学期	7	【第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち】 第3章 総力戦と社会運動 1節 第一次世界大戦の展開	1 10
	8	2節 ソ連の成立とアメリカ合衆国の台頭	
	9	3節 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4節 世界経済の変容と日本 5節 アジアのナショナリズム 6節 大衆の政治参加	
	10	第4章 経済危機と第二次世界大戦 1節 世界恐慌の時代 2節 ファシズムの伸長と共産主義	4
	11	第4章 経済危機と第二次世界大戦 3節 日中戦争への道 4節 第二次世界大戦の展開 5節 第二次世界大戦下の社会 7節 占領と戦後改革 8節 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 9節 日本の独立と日米安全保障条約	1 1 12
		----- 2学期中間考査 ----- 2学期期末考査	1
3 学期	12	【第Ⅲ部 グローバル化と私たち】 第5章 冷戦と世界経済 1節 冷戦下の地域紛争と脱植民地化	1 12
	1	2節 東西両陣営の動向と1960年代の社会 3節 軍拡競争から緊張緩和へ 4節 地域連携の形成と展開 5節 計画経済とその波及 6節 日本の高度経済成長 7節 アジアのなかの戦後日本	
	2	第6章 世界秩序の変容と日本 1節 石油危機 2節 アジア諸地域の経済発展 3節 市場開放と経済の自由化 5節 冷戦の終結とソ連の崩壊	4
	----- 学年末考査	1	

5 その他

- ※ 授業進度によって、扱う単元や課題のテーマに変更があります。教科担当者の指示に従って取り組んでください。
 ※ ルーブリックに基づくパフォーマンス評価を課題等で定期的に行います。教科担当者の指示に従って取り組んでください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:東京書籍 『地理総合』 地図帳:二宮書店 『詳解現代地図』 資料集:帝国書院 『新詳地理資料 COMPLETE 2023』 副教材:とうほう 『ウィニングコンパス 2023』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	単元1:生活文化と自然環境 単元2:様々な自然災害と防災	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題
		100点	100点	100点
2	単元3:生活文化と産業 単元4:資料から読み取る現代世界 単元5:人口問題、食糧問題	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題
		100点	100点	100点
3	単元6:資源、エネルギー問題 単元7:民族問題	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	単元1:生活文化と自然環境	14
	5	自然地形の成り立ちやそれらを生かした人々の生活について学ぶ。 世界の大地形、山地地形、河川地形、海岸地形、氷河地形、サンゴ礁地形、乾燥地形、カルスト地形を扱う。(OPPシート:地形の成り立ちと生活)	
	6	単元2:様々な自然災害と防災 地形の学習を踏まえ、地形の読み取りやロールプレイングを通して、防災に関する知識や関心を深める。またタブレットを活用して、自分の住む街の防災について調べ学習を行う。 (OPPシート:防災)	6
	7	期末テスト	1
2	8	単元3:生活文化と産業	12
	9	気候と農業の関連性が、その土地の衣食住、文化の形成にどう影響をしているのかを考察する。 ケッパンの気候区分に基づいて熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯、寒帯とそこで行われている農業について扱う。	
	10	単元4:資料から読み取る現代世界 第3次産業、交通・通信、観光業、宗教、生活文化というテーマをグローバル化という観点から捉えるとともに、諸資料を活用しながら、世界のつながりを考察する。(OPPシート:グローバル化)	1
	11	単元5:人口問題、食糧問題 経済発展に伴う人口・食料問題の原因を理論的な部分から理解することで、問題の本質をとらえる。人口転換論、日本における少子高齢化、人口減少問題、日本の食料自給率を扱う。(OPPシート:人口問題)	10
	12	期末テスト	6
			1
3	1	単元6:資源、エネルギー問題 資源の偏在性や発電における特徴の理解を踏まえて、自分が重要だと思う発電方法を調べる。 資源や発電方法の移り変わり、資源利用における生活への影響を扱う。(OPPシート:発電)	12
		単元7:民族問題 世界が抱える紛争や領土問題に関する理論的な理解を踏まえて、我々の生活における紛争とは何かや、領土問題について我々はどう向き合うべきなのかを考察する。アフリカにおける紛争、日本の領土問題、世界の領土問題を扱う。(OPPシート:紛争)	6
		学年末テスト	1

5 その他

--

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、我が国の歴史の展開に関わる諸事象についての課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。
使用教科書 副教材等	第一学習社 『高等学校 日本史探究』 浜島書店 『新詳 日本史』 浜島書店 『要点整理 ゼミナール日本史』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	【第1章 原始・古代の日本と東アジア】 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	60点	50点	50点
2	第2節 ヤマト政権と律令国家の形成 第3節 律令国家の変容 【第2章 中世の日本と世界】 第1節 中世への転換	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題 長期休業課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	120点	120点	120点
3	第1節 中世への転換 第2節 鎌倉幕府の展開	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題 長期休業課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	60点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	【第1章 原始・古代の日本と東アジア】 第1節 日本文化の黎明	6
	5	第2節 ヤマト政権と律令国家の形成	6
	6	パフォーマンス課題① 時代まとめプリント①	8
		図版特集 飛鳥文化&白鳳文化 ----- 1学期期末考査	1
2	7	第2節 ヤマト政権と律令国家の形成	2
	8	長期休業課題① 図版特集 天平文化	2
	9	第3節 律令国家の変容 パフォーマンス課題② 時代まとめプリント②	6
		----- 2学期中間考査	1
	10	図版特集 平安時代のくらしと文化	6
	11	【第2章 中世の日本と世界】 第1節 中世への転換 図版特集 院政期のくらしと文化 パフォーマンス課題③ 時代まとめプリント③ ----- 2学期期末考査	8 1
3	12	長期休業課題②	4
	1	第2節 鎌倉幕府の展開	8
	2	図版特集 鎌倉時代のくらしと文化 パフォーマンス課題④ 時代まとめプリント④	8
		----- 学年末考査	1
	3	-----	2

5 その他

授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

授業ではパフォーマンス課題を課します。授業担当の指示をよく聞いて、課題に取り組んでください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:『詳説世界史』 山川出版社 副教材:『最新世界史図説 タペストリー 二十一訂版』 帝国書院 『世界史重要語句 Check List』 啓隆社 『ウイニングコンパス 世界史の整理と演習 2023』 とうほう

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	80点	60点	70点
2	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題 長期休業課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	80点	90点	100点
3	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題 長期休業課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	80点	90点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第1章 文明の成立と古代文明の特質 文明の誕生	21
	5	古代オリエント文明とその周辺 南アジアの古代文明	
	6	中国の古代文明 南北アメリカ文明 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界	
	7	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成	
	8	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 仏教の成立と南アジアの統一国家	
	9	インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開	
	10	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家	
2	11	ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展	26
	12	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成	
	1	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 イスラーム教の諸地域への伝播	
3	2	西アジアの動向 西ヨーロッパの封建社会とその展開	23
	3	東ヨーロッパ世界の展開	

5 その他

授業前に図表などで本日学習するページを読んでおきましょう。すきま時間や自習時間を利用して学習内容を教科書やノートで確認する習慣をつけてください。そうすることによって理解が深まり、知識が定着します。
なお進捗等については、多少の変動があるものとし、変更があれば授業内で連絡します。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	<p>教科書:高等学校 公共 (第一学習社)</p> <p>副教材等:最新 公共 資料集 2023(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<p>第1編 公共の扉</p> <p>第1章 公共的な空間をつくる私たち</p> <p>第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方</p> <p>第3章 公共的な空間における基本的原理</p> <p>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p>	・定期考査等	<p>・定期考査等</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・提出物</p> <p>・ワークシート</p>

1 学 期	主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義			
	評価点	70点	50点	50点
2 学 期	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界	・定期考査等	・定期考査等 ・ワークシート ・長期休業課題	・授業中の行動観察 ・提出物 ・ワークシート ・長期休業課題
	評価点	70点	70点	80点
3 学 期	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私 たち	・定期考査等	・定期考査等 ・ワークシート ・長期休業課題	・授業中の行動観察 ・提出物 ・ワークシート ・長期休業課題
	評価点	60点	80点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	24
	5	第3章 公共的な空間における基本的原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	
	6	第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任	
	7	主題3 司法参加の意義	
2 学 期	8	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	30
	9	主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛	
	10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち	
	11	主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	
	12	主題10 市場経済の機能と限界	

3 学 期	1	主題 11 金融のはたらき 主題 12 財政の役割と社会保障	16
	2	主題 13 経済のグローバル化	
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	

5 その他

定期考査の結果だけでなく、日々の授業への参加・取り組み状況、提出物への取り組み状況などを総合的に評価します。
 進捗状況により、シラバスの若干の変更があります。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
地歴	世界史B	5	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	2年生時に学んだ世界史Bを基礎に、歴史の大きな枠組みと流れを、縦の繋がりだけでなく横の繋がりも意識しながら理解する。また日本の歴史と関連付けながら、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『詳説世界史』 山川出版社 副教材：『最新世界史図説 タペストリー 二十訂版』 帝国書院 『詳説世界史 スタンダードテスト 改訂版』 山川出版社

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出	33%
②思考・判断 ・表現	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査	33%
③資料活用の技能	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・ノート提出 ・提出課題 ・定期考査	17%
④知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	14	○ヨーロッパ世界の形成と発展 ○内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・ヨーロッパ世界の形成と展開について考察する。 ・五代十国、宋の変遷、モンゴル帝国の成立について確認する。	○	○	○	○
	5	18	○アジア諸地域の繁栄	・10世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域世界の社会や文化の特質について考察する。	○	○	○	○
	6	21	○近世ヨーロッパ世界の形成	・ルネサンス、大航海時代、アメリカ大陸の古文明とその後の変貌、宗教改革の動向に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける	○	○	○	○
	7	12	○近世ヨーロッパ世界の展開	・主権国家体制の特色、ヨーロッパ国際関係と商業覇権の推移、大西洋三角貿易の歴史的意義について考察する。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	6	○近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・ヨーロッパ、アメリカの諸革命と国民国家の成立について理解させる	○	○	○	○
	9	22	○欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制下の各地で自由主義・ナショナリズムの運動が高まり、イタリアやドイツなどで国民国家が形成されたことを理解する。	○	○	○	○
	10	20	○アジア諸地域の動揺 ○帝国主義とアジアの民族運動	・世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン・ムガル・清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける。 ・帝国主義時代の世界の一体化と社会の変容について追究し、ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競争とアジア・アフリカの対応の歴史的意義を考察する。	○	○	○	○
	11	24	○二つの世界大戦	・二つの世界大戦がその後の世界に与えた影響を理解する。	○	○	○	○
	12	10	○冷戦と第三世界の独立 ○現在の世界	・冷戦の背景について、第二次世界大戦中の国際関係も復習しながら、多角的に考察する。 ・米ソ両陣営の対立が世界各地に与えた影響について多角的に考察する。 ・経済格差や民族問題など現在に残る課題にも着目して第二次世界大戦後の各地域の動向を考察する。 ・米ソ両陣営の対立の激化、アジア・アフリカ地域の独立と第三勢力の形成、平和共存の模索と多極化の進展に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	18	既習事項の確認	問題演習を中心に、既習事項の確認を行う。	○	○	○	○
	2	10						
	3							

4 その他

授業前に教科書や資料集を読み、学ぶ内容に興味をもってみましょう。ただ用語を暗記するだけでなく、「歴史の流れ」を理解し、言葉で説明できるようになると、知識がより定着します。
授業に関する詳細については、初回オリエンテーションにて確認します。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
地歴	世界史B	4	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	2年生時に学んだ世界史Bを基礎に、歴史の大きな枠組みと流れを、縦の繋がりだけでなく横の繋がりも意識しながら理解する。また日本の歴史と関連付けながら、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『詳説世界史』 山川出版社 副教材：『最新世界史図説 タペストリー 二十訂版』 帝国書院 『詳説世界史 スタンダードテスト 改訂版』 山川出版社

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出	33%
②思考・判断 ・表現	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査	33%
③資料活用の技能	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・ノート提出 ・提出課題 ・定期考査	17%
④知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	12	○ヨーロッパ世界の形成と発展 ○内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・ヨーロッパ世界の形成と展開について考察する。 ・五代十国、宋の変遷、モンゴル帝国の成立について確認する。	○	○	○	○
	5	14	○アジア諸地域の繁栄	・10世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域世界の社会や文化の特質について考察する。	○	○	○	○
	6	17	○近世ヨーロッパ世界の形成	・ルネサンス、大航海時代、アメリカ大陸の古文明とその後の変貌、宗教改革の動向に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける	○	○	○	○
	7	9	○近世ヨーロッパ世界の展開	・主権国家体制の特色、ヨーロッパ国際関係と商業覇権の推移、大西洋三角貿易の歴史的意義について考察する。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	5	○近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・ヨーロッパ、アメリカの諸革命と国民国家の成立について理解させる	○	○	○	○
	9	17	○欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制下の各地で自由主義・ナショナリズムの運動が高まり、イタリアやドイツなどで国民国家が形成されたことを理解する。	○	○	○	○
	10	16	○アジア諸地域の動揺 ○帝国主義とアジアの民族運動	・世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン・ムガル・清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける。 ・帝国主義時代の世界の一体化と社会の変容について追究し、ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競争とアジア・アフリカの対応の歴史的意義を考察する。	○	○	○	○
	11	19	○二つの世界大戦	・二つの世界大戦がその後の世界に与えた影響を理解する。	○	○	○	○
	12	8	○冷戦と第三世界の独立 ○現在の世界	・冷戦の背景について、第二次世界大戦中の国際関係も復習しながら、多角的に考察する。 ・米ソ両陣営の対立が世界各地に与えた影響について多角的に考察する。 ・経済格差や民族問題など現在に残る課題にも着目して第二次世界大戦後の各地域の動向を考察する。 ・米ソ両陣営の対立の激化、アジア・アフリカ地域の独立と第三勢力の形成、平和共存の模索と多極化の進展に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	14	既習事項の確認	問題演習を中心に、既習事項の確認を行う。	○	○	○	○
	2	9						
	3							

4 その他

授業前に教科書や資料集を読み、学ぶ内容に興味をもってみましょう。ただ用語を暗記するだけでなく、「歴史の流れ」を理解し、言葉で説明できるようになると、知識がより定着します。
授業に関する詳細については、初回オリエンテーションにて確認します。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
地歴	日本史B 演習	4	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件と世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、日本の伝統と文化の特色について認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる資質を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：詳説日本史 改訂版(山川出版社) 副教材：新詳日本史(浜島書店)、要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとする。	授業態度 提出物 時代まとめプリント パフォーマンス課題等	33%
②思考・判断 ・表現	日本の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的に考察し文化と伝統の特色について認識を深め、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	定期考査 時代まとめプリント パフォーマンス課題等	33%
③資料活用 の技能	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取り、図表などにまとめることができる。	定期考査	15%
④知識・理解	日本の歴史の展開について、基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト	19%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1学期	4	16	3. 室町文化	・南北朝時代の文化と北山文化の特徴を理解させる ・東山文化と地域文化の発展についてその特徴を理解させる。	○		○	○
			4. 戦国大名の登場	・室町幕府の衰退から戦国時代の始まりまでの過程を考えさせる。	○	○	○	○
			・幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化	・大航海時代とはどのような時代か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○
	5	17	3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。 ・江戸時代初期の対外政策について考えさせる。 ・武士と百姓の関係を考えさせる。	○	○	○	○

1 学期	6	16	・幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	幕府はなぜ文治政治に転換したのか考えさせる。 ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる	○	○	○	○
	7	15	・幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化	・徳川吉宗と田沼意次の政策の特徴を理解させる。 ・百姓一揆や打ちこわしの背景を理解させる。 ・国学や蘭学が誕生した背景と特徴を考えさせる	○	○	○	○
			3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	・外国船が日本に何を求めてきたか考えさせる。 ・天保の改革はなぜ失敗したのかを考えさせる。 ・文化・文政時代の文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2 学期	9	16	・近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵	・ペリー来航がもたらした日本社会への影響を考えさせる。 ・開国がもたらした日本社会の変化を理解させる。 ・倒幕運動の展開過程を理解させる。 ・新政府の基本政策の特徴を考えさせる。 ・文明開化は暮らしをどう変えたか考えさせる。 ・新政府は民衆の支持を受けたのか考えさせる。 ・新政府の対外政策の特徴を理解させる。 ・自由民権運動はどうひろまったのか考えさせる。 ・国民が求めた憲法とは何か考えさせる。 ・松方デフレ政策がもたらしたものを考えさせる。	○	○	○	○
	10	16	3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達	・大日本帝国憲法の制定過程と内容の特徴をとらえさせる。 ・日本が欧米列強のような植民地主義をとっていく過程を考えさせる。 ・日露戦争の性格と特徴を考えさせる。 ・朝鮮の植民地化の過程と意味を考えさせる。 ・産業革命は何をもたらしたのか考えさせる。 ・近代文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○
	11	16	・二つの世界大戦とアジア 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化	・大正デモクラシーの特徴を理解させる。 ・第1次世界大戦に日本がなぜ参戦したのか考えさせる。 ・朝鮮や中国から日本への批判が強められたのはなぜか考えさせる。 ・財閥が生まれた背景をとらえさせる。 ・社会運動の高揚の意味を考えさせる。 ・民衆文化が発展したことを理解させる。	○	○	○	○

第2学期	12	15	4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍は中国で何をしたか考えさせる。 ・国民が戦争に総動員されていく過程を理解させる。 ・戦争は文化をどう圧迫したかをとらえさせる。 ・「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えさせる。 ・15年戦争は何をもたらしたのか考えさせる。 ・敗戦の意味を考えさせる。 	○	○	○	○
			・占領下の日本 1. 占領と改革	<ul style="list-style-type: none"> ・占領政治の特徴を理解させる。 ・新憲法を生み出した力は何か考えさせる。 ・民主化政策の転換の背景を考えさせる。 	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	13	2. 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争で日本はどう変わったのか理解させる。 ・日本の「独立」過程の特徴を考えさせる。 ・新安保反対運動はなぜおこったのか考えさせる。 ・高度経済成長の光と影を理解させる。 ・沖縄から戦後を考えてみる。 ・戦後どのような文化が生まれたか考えさせる。 	○	○	○	○
	2	8	・高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長へ	<ul style="list-style-type: none"> ・高度成長がなぜ終わり、その後どうなったのか考えさせる。 ・経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。 	○	○	○	○
			・激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・湾岸戦争がもたらした変化を考えさせる。 ・バブル経済の特徴を考えさせる。 ・21世紀の日本社会の特徴と課題を考えさせる。 ・21世紀のアジアと日本の関係について考えさせる。 	○	○	○	○

4 その他

<p>進度については多少の変動があるものとする。</p>

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
地歴	日本史B 演習	3	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件と世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、日本の伝統と文化の特色について認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる資質を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：詳説日本史 改訂版(山川出版社) 副教材：新詳日本史(浜島書店)、要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとする。	授業態度 提出物 時代まとめプリント パフォーマンス課題等	33%
②思考・判断 ・表現	日本の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的に考察し文化と伝統の特色について認識を深め、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	定期考査 時代まとめプリント パフォーマンス課題等	33%
③資料活用の技能	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取り、図表などにまとめることができる。	定期考査	15%
④知識・理解	日本の歴史の展開について、基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト	19%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	4	8	3. 室町文化	・南北朝時代の文化と北山文化の特徴を理解させる ・東山文化と地域文化の発展についてその特徴を理解させる。	○		○	○
			4. 戦国大名の登場	・室町幕府の衰退から戦国時代の始まりまでの過程を考えさせる。	○	○	○	○
			・幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化	・大航海時代とはどのような時代か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○
			3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。 ・江戸時代初期の対外政策について考えさせる。 ・武士と百姓の関係を考えさせる。	○	○	○	○

	5	11	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化 	<p>幕府はなぜ文治政治に転換したのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる。 	○	○	○	○
--	---	----	--	--	---	---	---	---

1 学 期	6	12	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川吉宗と田沼意次の政策の特徴を理解させる。 ・百姓一揆や打ちこわしの背景を理解させる。 ・国学や蘭学が誕生した背景と特徴を考えさせる。 	○	○	○	○
			<ul style="list-style-type: none"> 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国船が日本に何を求めてきたか考えさせる。 ・天保の改革はなぜ失敗したのかを考えさせる。 ・文化・文政時代の文化の特徴を理解させる。 ・ペリー来航がもたらした日本社会への影響を考えさせる。 	○	○	○	○
	7	10	<ul style="list-style-type: none"> ・近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 	<ul style="list-style-type: none"> ・開国がもたらした日本社会の変化を理解させる。 ・倒幕運動の展開過程を理解させる。 ・新政府の基本政策の特徴を考えさせる。 ・文明開化は暮らしをどう変えたか考えさせる。 ・新政府は民衆の支持を受けたのか考えさせる。 ・新政府の対外政策の特徴を理解させる。 ・自由民権運動はどうひろまったのか考えさせる。 ・国民が求めた憲法とは何か考えさせる。 ・松方デフレ政策がもたらしたものを考えさせる。 	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第 2 学 期	9	14	<ul style="list-style-type: none"> 3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の制定過程と内容の特徴をとらえさせる。 ・日本が欧米列強のような植民地主義をとっていく過程を考えさせる。 ・日露戦争の性格と特徴を考えさせる。 ・朝鮮の植民地化の過程と意味を考えさせる。 ・産業革命は何をもたらしたのか考えさせる。 ・近代文化の特徴を理解させる。 	○	○	○	○
	10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦とアジア 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・大正デモクラシーの特徴を理解させる。 ・第1次世界大戦に日本がなぜ参戦したのか考えさせる。 ・朝鮮や中国から日本への批判が強められたのはなぜか考えさせる。 ・財閥が生まれた背景をとらえさせる。 ・社会運動の高揚の意味を考えさせる。 ・民衆文化が発展したことを理解させる。 	○	○	○	○

	11	11	4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍は中国で何をしたか考えさせる。 ・国民が戦争に総動員されていく過程を理解させる。 ・戦争は文化をどう圧迫したかをとらえさせる。 ・「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えさせる。 ・15年戦争は何をもたらしたのか考えさせる。 ・敗戦の意味を考えさせる。 	○	○	○	○
	12	10	・占領下の日本 1. 占領と改革	<ul style="list-style-type: none"> ・占領政治の特徴を理解させる。 ・新憲法を生み出した力は何か考えさせる。 	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	9	2. 冷戦の開始と講和 ・高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長へ	<ul style="list-style-type: none"> ・民主化政策の転換の背景を考えさせる。 ・朝鮮戦争で日本はどう変わったのか理解させる。 ・日本の「独立」過程の特徴を考えさせる。 ・新安保反対運動はなぜおこったのか考えさせる。 ・高度経済成長の光と影を理解させる。 ・沖縄から戦後を考えてみる。 ・戦後どのような文化が生まれたか考えさせる。 ・高度成長がなぜ終わり、その後どうなったのか考えさせる。 ・経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。 	○	○	○	○
	2	10	・激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・湾岸戦争がもたらした変化を考えさせる。 ・バブル経済の特徴を考えさせる。 ・21世紀の日本社会の特徴と課題を考えさせる。 ・21世紀のアジアと日本の関係について考えさせる。 	○	○	○	○

4 その他

<p>進度については多少の変動があるものとする。</p>

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
地歴	日本史B 演習	5	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件と世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、日本の伝統と文化の特色について認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる資質を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：詳説日本史 改定版(山川出版社) 副教材：新詳日本史(浜島書店)、要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとする。	授業態度 提出物 時代まとめプリント 夏課題等	33%
②思考・判断 ・表現	日本の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的に考察し文化と伝統の特色について認識を深め、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	定期考査 時代まとめプリント 夏課題等	33%
③資料活用の技能	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取り、図表などにまとめることができる。	定期考査	15%
④知識・理解	日本の歴史の展開について、基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト	19%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	17	3. 室町文化	・南北朝時代の文化と北山文化の特徴を理解させる。 ・東山文化と地域文化の発展についてその特徴を理解させる。	○		○	○
			4. 戦国大名の登場	・室町幕府の衰退から戦国時代の始まりまでの過程を考えさせる。	○	○	○	○
			・幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化	・大航海時代とはどのような時代か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○
	5	19	3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。 ・江戸時代初期の対外政策について考えさせる。 ・武士と百姓の関係を考えさせる。	○	○	○	○

6	2 2	・幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	幕府はなぜ文治政治に転換したのか考えさせる。 ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる。	○	○	○	○
7	1 3	・幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化	・徳川吉宗と田沼意次の政策の特徴を理解させる。 ・百姓一揆や打ちこわしの背景を理解させる。 ・国学や蘭学が誕生した背景と特徴を考えさせる。	○	○	○	○
		3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	・外国船が日本に何を求めてきたか考えさせる。 ・天保の改革はなぜ失敗したのかを考えさせる。 ・文化・文政時代の文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	9	2 3	・近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵	・ペリー来航がもたらした日本社会への影響を考えさせる。 ・開国がもたらした日本社会の変化を理解させる。 ・倒幕運動の展開過程を理解させる。 ・新政府の基本政策の特徴を考えさせる。 ・文明開化は暮らしをどう変えたか考えさせる。 ・新政府は民衆の支持を受けたのか考えさせる。 ・新政府の対外政策の特徴を理解させる。 ・自由民権運動はどうひろまったのか考えさせる。 ・国民が求めた憲法とは何か考えさせる。 ・松方デフレ政策がもたらしたものを考えさせる。	○	○	○	○
	1 0	2 2	3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達	・大日本帝国憲法の制定過程と内容の特徴をとらえさせる。 ・日本が欧米列強のような植民地主義をとっていく過程を考えさせる。 ・日露戦争の性格と特徴を考えさせる。 ・朝鮮の植民地化の過程と意味を考えさせる。 ・産業革命は何をもたらしたのか考えさせる。 ・近代文化の特徴を理解させる。	○	○	○	○
	1 1	2 2	・二つの世界大戦とアジア 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化	・大正デモクラシーの特徴を理解させる。 ・第1次世界大戦に日本がなぜ参戦したのか考えさせる。 ・朝鮮や中国から日本への批判が強められたのはなぜか考えさせる。 ・財閥が生まれた背景をとらえさせる。 ・社会運動の高揚の意味を考えさせる。 ・民衆文化が発展したことを理解させる。	○	○	○	○
	1 2	1 8	4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦	・日本軍は中国で何をしたか考えさせる。 ・国民が戦争に総動員されていく過程を理解させる。 ・戦争は文化をどう圧迫したかをとらえさせる。 ・「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えさせる。 ・15年戦争は何をもたらしたのか考えさせる。 ・敗戦の意味を考えさせる。	○	○	○	○

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領下の日本 1. 占領と改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領政治の特徴を理解させる。 ・ 新憲法を生みだした力は何か考えさせる。 ・ 民主化政策の転換の背景を考えさせる。 	○	○	○	○
--	--	--	--	---	---	---	---	---

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	9	2. 冷戦の開始と講和 ・ 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主化政策の転換の背景を考えさせる。 ・ 朝鮮戦争で日本はどう変わったのか理解させる。 ・ 日本の「独立」過程の特徴を考えさせる。 ・ 新安保反対運動はなぜおこったのか考えさせる。 ・ 高度経済成長の光と影を理解させる。 ・ 沖縄から戦後を考えてみる。 ・ 戦後どのような文化が生まれたか考えさせる。 ・ 高度成長がなぜ終わり、その後どうなったのか考えさせる。 ・ 経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。 	○	○	○	○
	2	10	・ 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湾岸戦争がもたらした変化を考えさせる。 ・ バブル経済の特徴を考えさせる。 ・ 21世紀の日本社会の特徴と課題を考えさせる。 ・ 21世紀のアジアと日本の関係について考えさせる。 	○	○	○	○

4 その他

<p>進捗等は多少の変動があるものとする。</p>

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
地歴	地理B 演習	3	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的認識を深める。 ○ 地理的な見方・考え方を養うとともに、地理情報と地図の活用に関する技能を身につける。 ○ 現代世界が抱える様々な課題を理解し、解決へ向けての取り組みを考察する。
使用教科書 副教材等	教科書：新詳地理B 帝国書院 副教材：地図帳 詳解現代地図 二宮書店 資料集 最新地理図表GEO 第一学習社

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、生活している土地に対する関心をもつ。	学習プリント、ワークシート	33%
②思考・判断 ・表現	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	定期考査、ワークシート	33%
③資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、特色を読み取り図表などさまざまなまとめ方を身につける。	定期考査、ワークシート、学習プリント	15%
④知識・理解	現代世界の地理的事象について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査、学習プリント	19%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	
第1学期	4	8	人口、村落・都市 《村落と都市》 《都市・居住問題》	<ul style="list-style-type: none"> ・村落・都市の、形態による分類と特色を理解させる。 ・村落・都市の歴史的にみた発達について、立地条件との関わりから考察させる。 	○	○	○	○	
		8	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。 ・文化の広がりと変化について、現代社会のグローバル化との関わりから考察させる。 	○	○	○	○	
	5	1	(中間考査)			○	○	○	
		6	6	現代世界の諸地域 《東アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアについて、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業、工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の産業という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
			7	《東南アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアについて、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEAN の変化と課題という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
			7	《南アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアについて、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
	7	1	(期末考査)			○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	7	《西アジアと中央アジア》	西アジアと中央アジアについて、自然環境、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較し考察する。日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
	9	7	《北アフリカとサハラ以南のアフリカ》	・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化に着目し、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。	○	○	○	○
	10	10	《ヨーロッパ》	・ヨーロッパについて、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		7	《ロシア》	・ロシアについて、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		1	(中間考査)			○	○	○
	11	8	《アングロアメリカ》	アングロアメリカについて、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響のあるアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		8	《ラテンアメリカ》	ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を関連づけて考察する。日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		6	《オセアニア》	オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を関連づけて考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		12	1	(期末考査)			○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	6	現代世界と日本	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	○	○	○	○
	2	6	現代世界の諸課題	世界各地の人々が、置かれている自然条件、社会条件の中で生活する姿をとおして、地域の現状と課題を考察する。	○	○	○	○

4 その他

・進学希望者向けの補習を実施する予定です。授業のなかで随時案内します。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
地歴	地理B 演習	5	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的認識を深める。 ○ 地理的な見方・考え方を養うとともに、地理情報と地図の活用に関する技能を身につける。 ○ 現代世界が抱える様々な課題を理解し、解決へ向けての取り組みを考察する。
使用教科書 副教材等	教科書：新詳地理B 帝国書院 副教材：地図帳 詳解現代地図 二宮書店 資料集 最新地理図表GEO 第一学習社

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、生活している土地に対する関心をもつ。	学習プリント、ワークシート	33%
②思考・判断 ・表現	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	定期考査、ワークシート	33%
③資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、特色を読み取り図表などさまざまなまとめ方を身につける。	定期考査、ワークシート、学習プリント	15%
④知識・理解	現代世界の地理的事象について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査、学習プリント	19%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	14	人口、村落・都市 《村落と都市》 《都市・居住問題》	<ul style="list-style-type: none"> ・村落・都市の、形態による分類と特色を理解させる。 ・村落・都市の歴史的にみた発達について、立地条件との関わりから考察させる。 	○	○	○	○
	5	14	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。 ・文化の広がりと変化について、現代社会のグローバル化との関わりから考察させる。 	○	○	○	○
		1	(中間考査)				○	○
	6	11	現代世界の諸地域 《東アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアについて、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業、工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の産業という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
		11	《東南アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアについて、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEAN の変化と課題という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
		10	《南アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアについて、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
	7	1	(期末考査)				○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	10	《西アジアと中央アジア》	西アジアと中央アジアについて、自然環境、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較し考察する。日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
	9	10	《北アフリカとサハラ以南のアフリカ》	・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化に着目し、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。	○	○	○	○
	10	16	《ヨーロッパ》	・ヨーロッパについて、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		10	《ロシア》	・ロシアについて、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		1	(中間考査)			○	○	○
		14	《アングロアメリカ》	アングロアメリカについて、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響のあるアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
	11	14	《ラテンアメリカ》	ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を関連づけて考察する。日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		12	《オセアニア》	オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を関連づけて考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
	12	1	(期末考査)			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	12	現代世界と日本	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	○	○	○	○
	2	13	現代世界の諸課題	世界各地の人々が、置かれている自然条件、社会条件の中で生活する姿をとおして、地域の現状と課題を考察する。	○	○	○	○

4 その他

・進学希望者向けの補習を実施する予定です。授業のなかで随時案内します。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
地歴	地理B演習	4	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的認識を深める。 ○ 地理的な見方・考え方を養うとともに、地理情報と地図の活用に関する技能を身につける。 ○ 現代世界が抱える様々な課題を理解し、解決へ向けての取り組みを考察する。
使用教科書 副教材等	教科書：新詳地理B 帝国書院 副教材：地図帳 詳解現代地図 二宮書店 資料集 最新地理図表GEO 第一学習社

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、生活している土地に対する関心をもつ。	学習プリント、ワークシート	33%
②思考・判断 ・表現	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	定期考査、ワークシート	33%
③資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、特色を読み取り図表などさまざまなまとめ方を身につける。	定期考査、ワークシート、学習プリント	15%
④知識・理解	現代世界の地理的事象について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査、学習プリント	19%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	10	人口、村落・都市 《村落と都市》 《都市・居住問題》	<ul style="list-style-type: none"> ・村落・都市の、形態による分類と特色を理解させる。 ・村落・都市の歴史的にみた発達について、立地条件との関わりから考察させる。 	○	○	○	○
		12	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。 ・文化の広がりと変化について、現代社会のグローバル化との関わりから考察させる。 	○	○	○	○
	5	1	(中間考査)			○	○	○
		10	現代世界の諸地域 《東アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアについて、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業、工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の産業という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
		10	《東南アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアについて、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEAN の変化と課題という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
	6	10	《南アジア》	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアについて、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 	○	○	○	○
		7	1	(期末考査)			○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	8	《西アジアと中央アジア》	西アジアと中央アジアについて、自然環境、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較し考察する。日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
	9	10	《北アフリカとサハラ以南のアフリカ》	・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化に着目し、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。	○	○	○	○
	10	14	《ヨーロッパ》	・ヨーロッパについて、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		8	《ロシア》	・ロシアについて、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		1	(中間考査)			○	○	○
	11	10	《アングロアメリカ》	アングロアメリカについて、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響のあるアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		10	《ラテンアメリカ》	ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を関連づけて考察する。日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
		8	《オセアニア》	オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を関連づけて考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○	○	○	○
	12	1	(期末考査)			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	8	現代世界と日本	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	○	○	○	○
	2	8	現代世界の諸課題	世界各地の人々が、置かれている自然条件、社会条件の中で生活する姿をとおして、地域の現状と課題を考察する。	○	○	○	○

4 その他

・進学希望者向けの補習を実施する予定です。授業のなかで随時案内します。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
公民	倫理	2	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
使用教科書 副教材等	「高等学校 改訂版 倫理」（第一学習社） 「テオーリア 最新倫理資料集 新版二訂」（第一学習社）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身につけ、人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・パフォーマンス課題 	33%
②思考・判断 ・表現	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・パフォーマンス課題 	33%
③資料活用の技能	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用し、学び方を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 	34%
④知識・理解	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 	

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	4	1章 青年期の課題と自己形成 ①よく生きること を求めて ②青年期の課題 1－青年期とは何か 2－青年期の思考と感情 3－青年期の人間関係 4－青年期の自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の特質とは何かを理解する。 ・自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。 ・青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。 ・高校生の意識調査の結果を分析し、そこに現れている現代の高校生の特徴を読み取る。 ・自分自身の心に起こる状態を防衛機制の図にあてはめて考え、粘り強く欲求を抑制し、調整しながら目標達成を図る必要性を理解する。 ・生きることの意味についていろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に生かす知識として身につける。 	○	○		○
	5	5	2章 人間としての自覚 ①ギリシャの思想 1－哲学の形成 2－ソクラテス 3－プラトン 4－アリストテレス 5－ギリシャ思想の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシャの思想は、私たちににとってどのような意味を持つのかを考える。 ・ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか、両者を比較しながら考察する。 ・「ソクラテスの言葉」から「よく生きることこそ大切である」という彼の信念を読み取る。 ・アリストテレスの現実主義の立場を、プラトンのイデア論と対比しながら理解する。 ・ポリス中心の考え方にかわり、個人の内面的平安を求める思想が現れたことを理解する。 	○	○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	4	3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の風土と伝統	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 書籍や聞き取り調査などから日本の神話や伝承に関する諸資料を収集し、古代の日本人がどのような倫理意識を持っていたのかを理解する。 				
	9	4	②外来思想の受容 1ー日本仏教の展開 2ー日本儒学の展開	<ul style="list-style-type: none"> 日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。 法然、親鸞、一遍、栄西、道元、日蓮に関する資料を収集し、鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解する。 日本人の価値意識と儒教との関連について理解し、正の部分、負の部分をとともに検討する。 		○		○
		5	③町人意識のめざめと庶民思想 1ー義理と人情 2ー国学の成立 3ー庶民の思想 4ー伝統思想の成熟	<ul style="list-style-type: none"> 義理と人情、儉約と正直、勤労の倫理など、現代に流れる思想に対する興味・関心を高め、日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかに気づく。 国学の思想と私たちの考え方とで、共通するところ、異なるところ、共感するところなどを発表する。 義理と人情の観念、国学が提唱した人間尊重の思想、現代に流れる庶民思想は、どういうものかを理解する。 	○	○		○
	10	4	④西洋思想との出会い 1ー幕末の思想 2ー明治の啓蒙思想 3ー日本社会とキリスト教 4ー近代的自我の確立 5ー社会思想の展開 6ー近代日本の思想課題	<ul style="list-style-type: none"> 幕末の思想の特質や、文明開化が日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたかを把握する。 日本の近代思想がどのように展開していったかを理解する。 日本人のものの見方・考え方の中で、西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し、国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方をまとめる。 日本思想のまとめとして、国際社会に生きる日本人として、これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め、今後の生き方について考える。 		○		○
					○	○	○	○

第2学期	11	4	4章 現代に生きる人間の倫理 ①人間の尊厳 1ールネサンスと宗教改革 2ー人間性の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。 ・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。 ・先哲の思想の中から、人間の尊厳に関わる資料を収集し、活用する。 	○	○	○	○
		4	②近代の科学革命と自然観 1ー近代の科学革命 2ー経験論と合理論 3ー近代科学と社会の進歩	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の科学はどのような背景から生まれてきたのかを理解する。 ・ベーコンやデカルトによる科学的な考え方の特色を理解し、科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。 ・ベーコンやデカルトの著作を読み、自然は人間の手によって操作できるとする新しい自然観をつかむ。 ・経験論と合理論の考え方の特色はどこにあるのかを、自己の課題とつなげて理解する。 	○	○	○	○
		4	③自由で平等な社会の実現 1ー社会契約の思想 2ー人格の尊厳と自由ーカント 3ー人倫と自由の実現ーヘーゲル 4ー功利主義の思想	<ul style="list-style-type: none"> ・近代ヨーロッパの社会契約説を通して、民主社会の成り立ちを理解し、民主社会を実現した社会契約の思想について、多面的・多角的に考察する。 ・ホッブズ、ロック、ルソーに関する資料を収集し、社会契約の思想の違いを整理する。 ・現在の政治的自由は、ヨーロッパ近代の市民革命を基礎づけた思想家たちの考えに基づくことを理解する。 ・カントやヘーゲルの思索の内容を整理して理解する。 ・西洋近代の思想家たちは、自由の実現についてどのように考えたのか、多面的・多角的に考察する。 ・ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。 ・功利主義の思想からよく生きるとはどういうことかを理解し、自分自身の生き方につなげる。 	○	○	○	○
		12	4	④人間性の回復と主体性の確立 1ー社会主義の思想 2ー実存主義の思想 3ープラグマティズムの思想	<ul style="list-style-type: none"> ・社会主義の生まれた背景とその発展過程、現代の社会主義について考察する。 ・実存主義が追求した生き方とはどのようなものかを理解する。 ・主体的なあり方は、努力を伴う生き方であることを、実存主義の思想から考察する。 ・略伝や図版を活用して、思想家の人生をたどりながら思想内容を理解する。 	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	4	⑤現代の思想と人間像 1 一心の深層と無意識 2 一生の哲学と現象学 3 近代の理性と言語 4 正義と社会 5 他者と偏見	・前節までの学習を踏まえ、現代の思想は、それまでの思想からどのような影響を受け、それらをどのように乗り越えようとしているかを考察する。 ・フロイトやレヴィ-ストロースらの著作を読み、現代の思想が発見したり注目したりしてきたものは何かを理解する。 ・ロールズ、センらの思想から、私たちは何を学ぶことができるかを考察し、これからの生き方につなげる。	○	○	○	○
		2	⑥生命への畏敬と社会参加	・実践された倫理を貫いた人々の生き方に対する興味・関心を高め、生命への畏敬や本当の愛とはどのようなものかを理解する。 ・さまざまな思想家の主張を振り返りながら、私たちの生き方はどのようなものであればよいのかを、多面的・多角的に考察する。 ・思想家の言葉から、自らの思想をそのままに生き、一生そのようにし続けた生き方をつかむ。	○	○	○	○
	2	2	5章 現代の諸課題と倫理 ①生命の問題と倫理課題 1 生殖医療と遺伝子操作 2 脳死臓器移植と再生医療 3 自己決定の尊重と末期医療	・クローン技術、遺伝子組換え、脳死臓器移植、安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察する。 ・生命をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。	○	○	○	○
		2	②環境の問題と倫理課題 1 有限な地球環境 2 生物多様性と自然との共生 3 予防原則と世代間倫理	・地球規模だけでなく、身近なところで起きている環境問題について調べ、有限な資源を未来の世代にも配分するには何をすればよいか、環境倫理の考え方はどのようなものか、などについて考察する。 ・地球環境問題、環境保護活動、循環型社会をめざす取り組み、将来の世代に対する責任などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。	○	○	○	○

第3学期	2	2	③家族・地域社会と倫理課題 1ー少子化と男女共同参画社会 2ー高齢化と地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会の問題点を、家族の形態や地域社会はどのように変化してきたか、それらに期待される役割とはどういったものか、などについて考察する。 ・核家族化や少子化の進行に伴う家族関係の変容、男女共同参画時代の夫婦のあり方、高齢者と地域社会のあり方などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・家族・地域社会をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○
		2	④情報社会と倫理課題 1ー情報の洪水と情報リテラシー 2ーネットワーク社会と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きていくために必要な能力、情報モラルに関する問題などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・高度情報化やネットワーク社会をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○
		2	⑤宗教・文化と倫理課題 1ー宗教信仰への理解と現代世界 2ー異文化理解と多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化を理解するためには、社会全体でどのような取り組みが必要かを考察する。 ・多様な外国人と交流する際の倫理的課題は何か、などのテーマから探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・グローバル化が進む現代において、異文化を理解するにあたり問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○

第3学期	3	⑥国際平和と人類の福祉 1ー地球市民として 2ー平和な世界に向けて	・各国間の経済格差の解消，自立を支援するための援助，難民や女性・子どもの人権保障，核兵器の廃絶など，人類全体の福祉実現に向けた取り組みを調べ，地球市民としての生き方を探究する。	○	○		○
			・頻発する地域紛争や民族紛争，難民問題，戦争と核兵器の廃絶の問題，などのテーマから，探究したい課題を見いだし，多面的・多角的に考察するとともに，広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。	○	○		○
			・人類の福祉をめぐる問題となっている事例を収集し，主体的に選択して活用する。	○		○	
			・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。	○	○	○	

4 その他

進度によってシラバスを変更することがあります。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
公民	政治・経済	3	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	現実社会の出来事、制度、組織などを科学的に理解し、考察することを通して、民主主義の本質について見識を深める。また、社会で生じる諸問題について、広い視野に立って客観的に理解し、自己の意見を形成する。
使用教科書 副教材等	教科書「高等学校 改訂版 政治・経済」 第一学習社 副教材「最新 政治・経済資料集 新版 2020」 第一学習社 自主教材：配布プリント

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
① 関心・意欲 ・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	授業態度・学習ノート プリント パフォーマンス課題	3 3%
② 思考・判断 ・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	定期考査・学習ノート プリント パフォーマンス課題	3 3%
③ 技能	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	学習ノート プリント	3 4%
④ 知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査・学習ノート プリント	

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	4	16	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 ①政治と法 ②民主政治の原理と発展 ③世界の政治体制 ④民主政治の混迷と課題	・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら、法の意義について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の国際的な広がりについて考察する。 ・民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。		○		○
	5		第2章 日本国憲法の基本的性格 ①日本国憲法の成立 ②平和主義 ③基本的人権の保障 ④人権のひろがり	・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について理解する。 ・天皇の地位と役割について民主権と関連させて理解する。 ・日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	5	17	<p>[中間考査]</p> <p>第3章 日本の政治機構</p> <p>①立法</p> <p>②行政</p> <p>③司法</p> <p>④地方自治</p>	<p>・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握しながら、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。</p> <p>・自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を把握する。</p> <p>・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係や、「公共の福祉」の概念について理解する。</p>		○		○
	6			<p>・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解する。</p> <p>・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。</p> <p>・二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など、国会に関する基本的事項について把握しながら、国会の課題についても関心を高める。</p> <p>・現代の福祉国家の下では、国家機能が複雑化・大規模化して、行政府の役割が増大したことを理解する。</p> <p>・裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の更生について関心を高める。</p> <p>・地方自治の本旨を把握しながら、地方分権と住民の権利について理解し、国と地方の関係を考察する。</p> <p>・地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め、報道資料などから自分の住んでいる地域の実情を調査する。</p>	○	○		○
			<p>第4章 現代日本の政治</p> <p>①戦後政治の歩み</p> <p>②選挙制度と政党</p> <p>③政治参加と世論</p>	<p>・日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。</p> <p>・政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら、政治への関心を高める。</p> <p>・選挙結果や投票率の分析・動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての参政のあり方について考察する。</p> <p>・マス・メディアの役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。</p> <p>・特定の政治的志向をもたない人々の増大や、政治的無関心の広がりについて考察する。</p>	○	○	○	○
			<p>第5章 現代の国際政治</p> <p>①戦後政治の特質と国際法</p>	<p>・国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差や諸問題があることを理解する。</p> <p>・国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。</p> <p>・グローバル化の進展により、国際社会ではNGOや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。</p>	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	6	7	②国際連合と国際協力 ③現代国際政治の動向 ④核兵器と軍縮 ⑤人種・民族問題 ⑥国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟と国際連合の違いを把握しながら、国際連合の役割、国際連合が抱えている課題について理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 ・民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに、国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 ・軍縮や国際平和に関する問題について、メディアを利用して調査し、国際平和のために日本が貢献できることについて、多角的な視点で考察する。 	○	○		○
	7		5		<p>[期末考査]</p> <p>第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容</p> <p>①資本主義経済の発展 ②グローバル化と現代資本主義経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代経済の特質について理解する。 ・グローバル化した現代社会における資本主義経済の特徴を理解する。 	○	○

第2学期	8	23	第2章 現代経済のしくみ ①市場機構 ②現代の企業	<ul style="list-style-type: none"> ・家計・企業・政府が互いこのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。 ・株式会社とはどのようなものか、所有と経営の両面から理解するとともに、企業の社会的責任について関心を高める。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 ・国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 ・物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 ・金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 ・財政の基本的なしくみや役割、租税の意義について理解しながら、その用途について関心を高める。 ・日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。 		○		○
	9		<p>③国民所得と経済成長 ④金融のしくみ ⑤財政のしくみ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社のしくみや役割、株式市場の機能について理解する。 ・国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 ・物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 ・金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 ・財政の基本的なしくみや役割、租税の意義について理解しながら、その用途について関心を高める。 ・日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。 	○	○	
	10		第3章 現代経済と福祉の向上 ①日本経済の歩み ②日本の中小企業と農業 ③国民の暮らし ④環境保全と公害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。 ・日本の農業が直面している課題について理解する。 ・消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度について、諸資料を利用して調査する。 ・深刻化している地球的規模の環境問題に関心をもち、どのように乗り越えるべきか考察する。 		○		○
			[中間考査]		○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	10		⑤労使関係と労働条件の改善 ⑥社会保障の役割	<ul style="list-style-type: none"> 労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 メディアを利用して、若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。 日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。 すべての人が社会に参画するための方法を、諸資料を利用して調査する。 	○	○	○	○
	11	21	第4章 世界経済と日本 ①商品・資本の流れと国際収支 ②国際経済体制の変化 ③金融のグローバル化世界金融危機 ④地域経済統合と新興国の台頭 ⑤経済協力と人間開発の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 地域的経済統合やFTA・EPAについて関心をもち、諸資料を利用して具体的に考察する。 グローバル化にともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、関心を高める。 先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。 	○	○	○	○
	12		[期末考査]		○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1		第3編 現代社会の諸課題（選択） ①地域社会の変貌と住民生活 ②中小企業の新しい変化 ③農業・農村と食料、環境問題 ④雇用と労働をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。 第1編・第2編の学習の成果の上に立って、現代社会の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。 調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。 	○	○	○	○
	2	16	⑤これからの社会保障のあり方 ⑥地球環境の保全と経済成長 ⑦原子力と再生可能エネルギー ⑧人種・民族問題 ⑨国際経済格差の是正と国際協力		○	○	○	○
	3		⑩国際社会における日本の立場と役割		○	○	○	○

4 その他

進度によってシラバスを変更することがあります。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
公民	政治・経済	2	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	現実社会の出来事、制度、組織などを科学的に理解し、考察することを通して、民主主義の本質について見識を深める。また、社会で生じる諸問題について、広い視野に立って客観的に理解し、自己の意見を形成する。
使用教科書 副教材等	教科書「高等学校 改訂版 政治・経済」 第一学習社 副教材「最新 政治・経済資料集 新版 2020」 第一学習社 自主教材：配布プリント

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
① 関心・意欲 ・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	授業態度・学習ノート プリント パフォーマンス課題	33%
② 思考・判断 ・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	定期考査・学習ノート プリント パフォーマンス課題	33%
③ 技能	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	学習ノート プリント	34%
④ 知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査・学習ノート プリント	

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	4	11	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 ①政治と法 ②民主政治の原理と発展 ③世界の政治体制 ④民主政治の混迷と課題	・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら、法の意義について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の国際的な広がりについて考察する。 ・民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。		○		○
	5		第2章 日本国憲法の基本的性格 ①日本国憲法の成立 ②平和主義 ③基本的人権の保障 ④人権のひろがり	・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について理解する。 ・天皇の地位と役割について民主権と関連させて理解する。 ・日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	5	11	<p>[中間考査]</p> <p>第3章 日本の政治機構</p> <p>①立法</p> <p>②行政</p> <p>③司法</p> <p>④地方自治</p>	<p>・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握しながら、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。</p> <p>・自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を把握する。</p> <p>・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係や、「公共の福祉」の概念について理解する。</p>		○		○
	6			<p>・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解する。</p> <p>・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。</p> <p>・二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など、国会に関する基本的事項について把握しながら、国会の課題についても関心を高める。</p> <p>・現代の福祉国家の下では、国家機能が複雑化・大規模化して、行政府の役割が増大したことを理解する。</p> <p>・裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の更生について関心を高める。</p> <p>・地方自治の本旨を把握しながら、地方分権と住民の権利について理解し、国と地方の関係を考察する。</p> <p>・地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め、報道資料などから自分の住んでいる地域の実情を調査する。</p>	○	○		○
			<p>第4章 現代日本の政治</p> <p>①戦後政治の歩み</p> <p>②選挙制度と政党</p> <p>③政治参加と世論</p>	<p>・日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。</p> <p>・政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら、政治への関心を高める。</p> <p>・選挙結果や投票率の分析・動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての参政のあり方について考察する。</p> <p>・マス・メディアの役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。</p> <p>・特定の政治的志向をもたない人々の増大や、政治的無関心の広がりについて考察する。</p>	○	○	○	○
			<p>第5章 現代の国際政治</p> <p>①戦後政治の特質と国際法</p>	<p>・国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差や諸問題があることを理解する。</p> <p>・国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。</p> <p>・グローバル化の進展により、国際社会ではNGOや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。</p>		○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	6	5	②国際連合と国際協力 ③現代国際政治の動向 ④核兵器と軍縮 ⑤人種・民族問題 ⑥国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟と国際連合の違いを把握しながら、国際連合の役割、国際連合が抱えている課題について理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 ・民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに、国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 ・軍縮や国際平和に関する問題について、メディアを利用して調査し、国際平和のために日本が貢献できることについて、多角的な視点で考察する。 	○	○		○
	7		3		<p>[期末考査]</p> <p>第2編 現代の経済</p> <p>第1章 経済社会の変容</p> <p>①資本主義経済の発展</p> <p>②グローバル化と現代資本主義経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代経済の特質について理解する。 ・グローバル化した現代社会における資本主義経済の特徴を理解する。 	○	○

第2学期	8	15	第2章 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・家計・企業・政府が互いこのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。 ・株式会社とはどのようなものか、所有と経営の両面から理解するとともに、企業の社会的責任について関心を高める。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 ・国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 ・物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 ・金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 ・財政の基本的なしくみや役割、租税の意義について理解しながら、その用途について関心を高める。 ・日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。 		○		○
	9		<p>①市場機構</p> <p>②現代の企業</p> <p>③国民所得と経済成長</p> <p>④金融のしくみ</p> <p>⑤財政のしくみ</p>		○	○		○
	10		<p>第3章 現代経済と福祉の向上</p> <p>①日本経済の歩み</p> <p>②日本の中小企業と農業</p> <p>③国民の暮らし</p> <p>④環境保全と公害防止</p> <p>[中間考査]</p>		○	○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	10	14	⑤労使関係と労働条件の改善 ⑥社会保障の役割	・労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 ・メディアを利用して、若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。 ・日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。 ・すべての人が社会に参画するための方法を、諸資料を利用して調査する。	○	○	○	○
	11		第4章 世界経済と日本 ①商品・資本の流れと国際収支 ②国際経済体制の変化 ③金融のグローバル化世界金融危機 ④地域経済統合と新興国の台頭 ⑤経済協力と人間開発の課題	・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 ・国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 ・為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 ・地域的経済統合やFTA・EPAについて関心をもち、諸資料を利用して具体的に考察する。 ・グローバリゼーションにともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、関心を高める。 ・先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。	○	○	○	○
	12		[期末考査]		○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	11	第3編 現代社会の諸課題（選択） ①地域社会の変貌と住民生活 ②中小企業の新しい変化 ③農業・農村と食料、環境問題 ④雇用と労働をめぐる問題	・現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。 ・第1編・第2編の学習の成果の上に立って、現代社会の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。	○	○	○	○
	2		⑤これからの社会保障のあり方 ⑥地球環境の保全と経済成長 ⑦原子力と再生可能エネルギー ⑧人種・民族問題	・調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。	○	○	○	○
	3		⑨国際経済格差の是正と国際協力 ⑩国際社会における日本の立場と役割		○	○	○	○

4 その他

進度によってシラバスを変更することがあります。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
公民	政治・経済	3	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	現実社会の出来事、制度、組織などを科学的に理解し、考察することを通して、民主主義の本質について見識を深める。また、社会で生じる諸問題について、広い視野に立って客観的に理解し、自己の意見を形成する。
使用教科書 副教材等	教科書「高等学校 改訂版 政治・経済」 第一学習社 副教材「最新 政治・経済資料集 新版 2020」 第一学習社 自主教材：配布プリント

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
① 関心・意欲 ・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	授業態度・学習ノート プリント パフォーマンス課題	3 3%
② 思考・判断 ・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	定期考査・学習ノート プリント パフォーマンス課題	3 3%
③ 技能	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	学習ノート プリント	3 4%
④ 知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査・学習ノート プリント	

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	4	16	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 ①政治と法 ②民主政治の原理と発展 ③世界の政治体制 ④民主政治の混迷と課題	・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら、法の意義について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の国際的な広がりについて考察する。 ・民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。		○		○
	5		第2章 日本国憲法の基本的性格 ①日本国憲法の成立 ②平和主義 ③基本的人権の保障 ④人権のひろがり	・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について理解する。 ・天皇の地位と役割について民主権と関連させて理解する。 ・日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
1 学期	5			<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握しながら、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 ・自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係や、「公共の福祉」の概念について理解する。 		○		○
			[中間考査]					
	6		第3章 日本の政治機構 ①立法 ②行政 ③司法 ④地方自治	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。 ・二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など、国会に関する基本的事項について把握しながら、国会の課題についても関心を高める。 ・現代の福祉国家の下では、国家機能が複雑化・大規模化して、行政府の役割が増大したことを理解する。 ・裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の更生について関心を高める。 ・地方自治の本旨を把握しながら、地方分権と住民の権利について理解し、国と地方の関係を考察する。 ・地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め、報道資料などから自分の住んでいる地域の実情を調査する。 	○	○	○	○
	17		第4章 現代日本の政治 ①戦後政治の歩み ②選挙制度と政党 ③政治参加と世論	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。 ・政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら、政治への関心を高める。 ・選挙結果や投票率の分析・動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての参政のあり方について考察する。 ・マス・メディアの役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。 ・特定の政治的志向をもたない人々の増大や、政治的無関心の広がりについて考察する。 	○	○	○	○
			第5章 現代の国際政治 ①戦後政治の特質と国際法	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差や諸問題があることを理解する。 ・国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。 ・グローバル化の進展により、国際社会ではNGOや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。 	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	6	7	②国際連合と国際協力 ③現代国際政治の動向 ④核兵器と軍縮 ⑤人種・民族問題 ⑥国際政治と日本	・国際連盟と国際連合の違いを把握しながら、国際連合の役割、国際連合が抱えている課題について理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 ・民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに、国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 ・軍縮や国際平和に関する問題について、メディアを利用して調査し、国際平和のために日本が貢献できることについて、多角的な視点で考察する。	○	○		○
	7		5	[期末考査] 第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容 ①資本主義経済の発展 ②グローバル化と現代資本主義経済	・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代経済の特質について理解する。 ・グローバル化した現代社会における資本主義経済の特徴を理解する。	○	○	

第2学期	8	23	第2章 現代経済のしくみ ①市場機構 ②現代の企業	・家計・企業・政府が互いどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。		○		○
	9		③国民所得と経済成長 ④金融のしくみ ⑤財政のしくみ	・株式会社とはどのようなものか、所有と経営の両面から理解するとともに、企業の社会的責任について関心を高める。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 ・国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 ・物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 ・金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 ・財政の基本的なしくみや役割、租税の意義について理解しながら、その用途について関心を高める。 ・日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。	○	○	○	○
	10		第3章 現代経済と福祉の向上 ①日本経済の歩み ②日本の中小企業と農業 ③国民の暮らし ④環境保全と公害防止	・大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。 ・日本の農業が直面している課題について理解する。 ・消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度について、諸資料を利用して調査する。 ・深刻化している地球的規模の環境問題に関心をもち、どのように乗り越えるべきか考察する。	○	○	○	○
			[中間考査]					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	10		⑤労使関係と労働条件の改善 ⑥社会保障の役割	<ul style="list-style-type: none"> 労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 メディアを利用して、若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。 日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。 すべての人が社会に参画するための方法を、諸資料を利用して調査する。 	○	○	○	○
	11	21	第4章 世界経済と日本 ①商品・資本の流れと国際収支 ②国際経済体制の変化 ③金融のグローバル化世界金融危機 ④地域経済統合と新興国の台頭 ⑤経済協力と人間開発の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 地域的経済統合やFTA・EPAについて関心をもち、諸資料を利用して具体的に考察する。 グローバル化にとまなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、関心を高める。 先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。 	○	○	○	○
	12		[期末考査]		○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1		第3編 現代社会の諸課題（選択） ①地域社会の変貌と住民生活 ②中小企業の新しい変化 ③農業・農村と食料、環境問題 ④雇用と労働をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。 第1編・第2編の学習の成果の上に立って、現代社会の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。 	○	○	○	○
	2	16	⑤これからの社会保障のあり方 ⑥地球環境の保全と経済成長 ⑦原子力と再生可能エネルギー ⑧人種・民族問題 ⑨国際経済格差の是正と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。 	○	○	○	○
	3		⑩国際社会における日本の立場と役割		○	○	○	○

4 その他

進度によってシラバスを変更することがあります。